

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム よもぎ

作成日 平成26年 9月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念を基に地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだ運営方針を立て、より理念の共有と実践に取り組むことが望まれる。	グループホームの独自の介護理念を作成し職員間で共有・実践する。	職員の意見を反映させた介護理念を作成し、フロア会議で実践出来ているか確認を行い、午後の申し送り時には唱和を行う様にする。又、年末に理念について職員個々にどの様に実践に繋がったか振り返りを行う。	1 2 カ月
2	3	運営推進会議の内容は参加出来なかった職員やメンバーにも理解してもらえるようにすることが望ましい。	運営推進会議に参加していない職員も会議内容を把握して貰う。	運営推進会議議事録を職員が確認しやすい場所に置き、作成次第申し送りをを行い、確認後捺印して貰う。捺印後は主任まで報告をする様にする。	1 2 カ月
3	13	定期的な訓練だけでなく、年間を通じて利用者様の身体状況等を踏まえて避難誘導方法を検討し、非常災害時に速やかに避難が出来るようにし職員間で周知する取り組みが望まれる。	年間を通じて身体状況の変化にも対応した避難方法を周知する。	身体状況に応じた避難誘導方法を検討し、会議で全職員に周知させる。3か月に一度避難通路に障害物が無いか、必要物品がそろっているか確認する。	1 2 カ月
4	20	ボランティアの来訪などで利用開始後にできた馴染みの関係も継続できるように支援することが望まれる。	現在の馴染みの関係は継続させると共に、新しい馴染みの関係も築けるようにする。	ボランティアには継続して貰える様にし、現在参加しておられない利用者様にも参加を促していく。又新しいボランティアの受け入れも行う。	1 2 カ月
5	10	グループホームの全体的様子だけでなく、利用者様個々の生活の様子も家族様に把握してもらい、家族様からより多くの意見や要望を出してもらいサービスの質の向上に役立てる取り組みが望まれる。	家族様より意見や要望を頂き、サービスの質の向上を行う。	面会時や連絡を取る時には状態や様子の報告を行い、家族様より意見・要望を頂く。処方薬や病状に変化が無い利用者様のご家族様にも定期的に往診の事も報告するようにする。	1 2 カ月

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	16	今後も利用者様一人一人に合わせた排泄の支援を全職員で統一して行い、羞恥心や不安への配慮を行った排泄支援を継続していくことが望ましい。	羞恥心や不安への配慮した排泄支援を継続。	利用者様1人1人に合わせた排泄介助を行い、会議の場で本人に適した排泄介助が出来ているか検討を行う。	1 2 カ月
7					
8					
9					
10					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。